



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局
和歌山河川国道事務所

資料配布

配布日時

平成27年1月8日(木)
14時00分

件名

京奈和自動車道 ^{きほくひがし}紀北東道路 ^{きほく}紀北かつらぎIC～^{きかわ}紀の川IC
～沿線で新たな企業立地が増加するなど様々な効果が発現～

概要

○京奈和自動車道 紀北東道路 紀北かつらぎIC～紀の川IC間が
平成26年3月30日(日)に開通しました。
整備効果や開通後の並行する道路も含めた交通状況の変化について
お知らせします。

■沿線地域 新規企業立地の推進

・京奈和自動車道の整備に伴い、**沿線地域に新たな企業立地**が進んでいます。

■物流効率の向上

・物流企業間の**搬送時間が短縮し、物流効率の向上・輸送コストの低減・顧客満足度の向上**などの効果が現れています。

■救急医療への貢献

・橋本市消防本部管内では、第三次救急医療施設への救急搬送における**搬送時間が短縮し、救命活動に貢献**しています。

■交通状況の変化

・紀北東道路に交通が転換したことにより、国道24号をはじめとする紀北東道路と**並行する道路の交通量が、約4割減少**しています。

・既に開通していた京奈和自動車道の区間においては、**昨年度の年末年始に比べ最大で約4割の交通量増加**が見られ、**京奈和自動車道の利用が大幅に促進**しています。

取扱い

配布場所

和歌山県政記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ 和歌山県地方新聞協会

問合せ先

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所

TEL 073-424-2471(代表)

副所長 河合 良治 (内線 206)

調査第二課長 高松 弘泰 (内線 451)

沿線地域 新規企業立地の推進

- 京奈和自動車道の整備に伴い、沿線地域に新たな企業立地が進んでいます。
- 京奈和自動車道の整備による和歌山市や阪和自動車道沿線、名古屋市方面へのアクセス性向上が新規企業立地のセールスポイントとなっており、物流・通勤が便利になることから、沿線自治体の工業用地への問い合わせが多く寄せられています。

■和歌山県北部 工業団地

北勢田ハイテクパーク
北勢田第2工業団地

〈所在地〉
紀の川市
北勢田・重行

〈土地面積(合算)〉
約24ヘクタール

・H23より第2工業団地の誘致開始



紀北橋本エコヒルズ

〈所在地〉
橋本市
小峰台・紀ノ光台

〈土地面積(合算)〉
約149ヘクタール

・H23より紀ノ光台Sゾーンの誘致開始



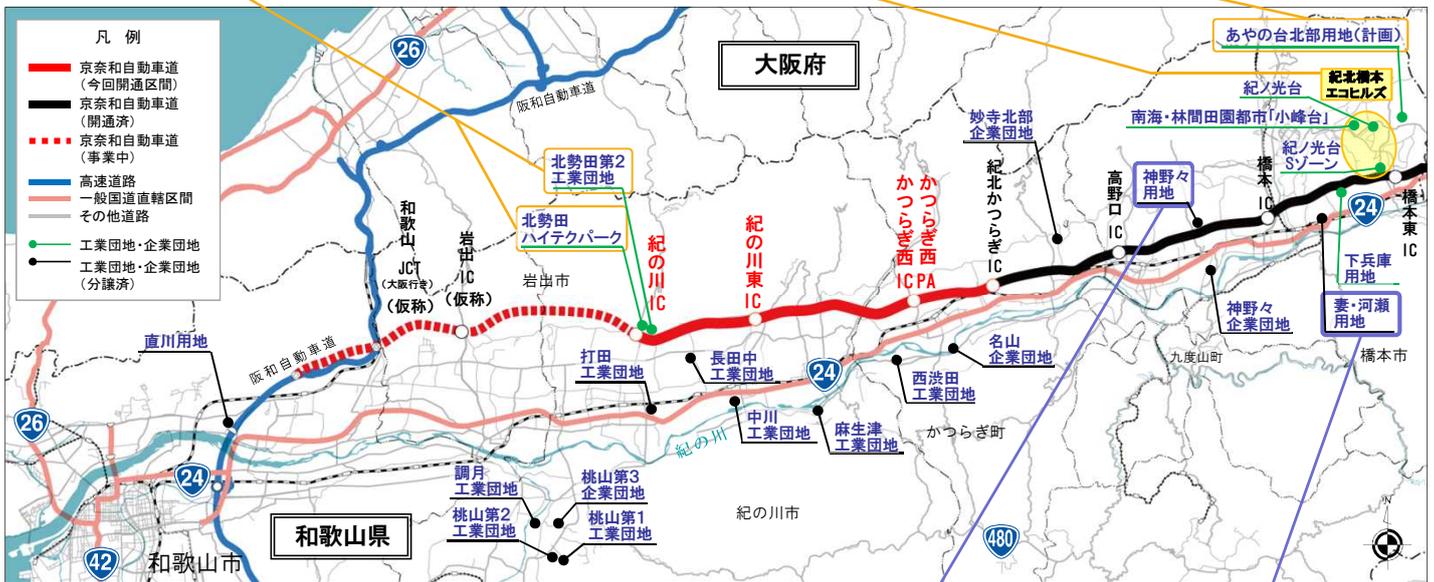
さらに計画中

あやの台 北部用地 (仮称)

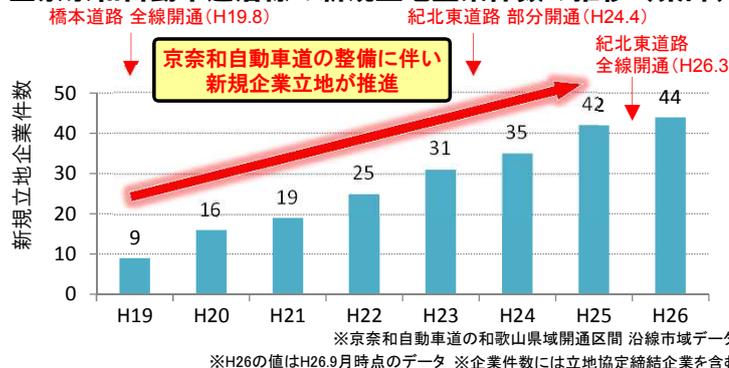
〈所在地〉
橋本市 隅田町

〈土地面積〉
約140ヘクタール

・H28より企業用地の造成開始予定

■京奈和自動車道沿線の新規立地企業件数の推移 (累計)



H26年度 新規立地協定

(株) 興栄ケミカル工業所

自動車用フロアマットを中心に各種マットを製造。大手自動車メーカーの純正マツ製造を主体。

〈雇用予定〉新規地元雇用20名
〈操業予定〉平成27年4月



進出協定調印式 (平成26年9月3日・橋本市役所)

左から平木市長、湯原代表取締役、古田伊都振興局長

H26年度 新規立地協定

(株) プリントテクニカ

法人ユーザー数300社以上に及ぶスクリーン印刷を主力とした各種印刷業。

〈雇用予定〉新規地元雇用10名
〈操業予定〉平成27年8月



進出協定調印式 (平成26年5月15日・橋本市役所)

左から平木市長、西山代表取締役、古田伊都振興局長

■京奈和自動車道沿線の企業立地動向について (和歌山県 企業立地課)



- ・京奈和自動車道の整備に伴い、物流・通勤が便利になることから、沿線自治体の工業用地への問い合わせが多く寄せられています。
 - ・和歌山県企業立地課における企業訪問時には、京奈和自動車道の整備により、阪和自動車道沿線、名古屋方面へのアクセスが格段に向上していること、通行料が無料であることをセールスポイントとして特にアピールしており、好反応をいただいています。
 - ・愛知県に本社を置く企業は、京奈和自動車道ができて取引先のある和歌山市へのアクセスが便利になることを前提に紀の川市に工場を設置しました。同様に和歌山県内から名古屋方面へのアクセス向上を見込んだ企業立地も増えています。
- (和歌山県 企業立地課)
ヒアリング調査(H26.12.1実施)

物流効率の向上

- 紀北東道路までの開通に伴い、和歌山市内に位置する総合物流基地（直川用地）と橋本市方面の物流企業間の搬送時間が約15分短縮し、物流効率の向上や輸送コストの低減などの効果が現れています。
- 配送時間に余裕が生まれ、前倒して配送可能となったことから、顧客へより早く配達ができ、顧客満足度の向上につながっています。
- 今回の開通を踏まえ、県外への複数ルート確保など、物流面における京奈和自動車道全線開通への期待が高まっています。

■和歌山県北部の配送



■地域における配送効率の変化

総合物流業者A社の事例

紀北東道路・橋本道路

開通前



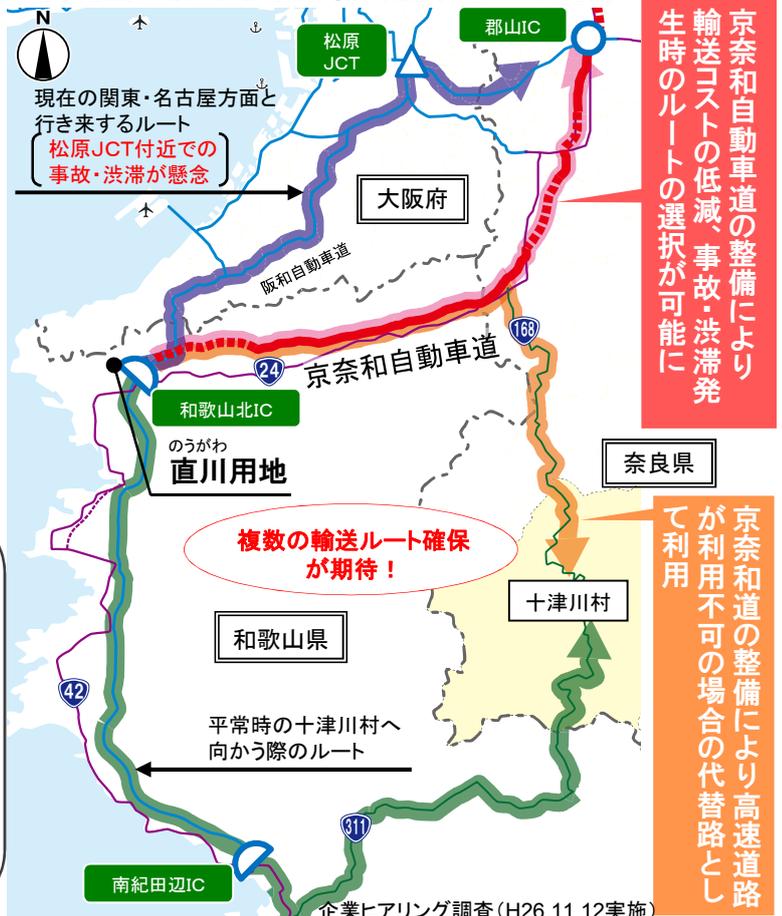
紀北東道路・橋本道路

開通後



より早く配達が可能になり
顧客満足度が向上

■物流面における京奈和自動車道への期待



京奈和自動車道の整備により
輸送コストの低減、事故・渋滞発生時のルート選択が可能に

京奈和道の整備により高速道路が利用不可の場合の代替路として利用

複数の輸送ルート確保が期待！

平常時の十津川村向かう際のルート

- ・前倒配送が可能になったことで、顧客からのニーズに迅速に応えることができ、顧客満足度向上に寄与していると感じています。
- ・京奈和自動車道を利用することで、阪和自動車道の渋滞や事故の影響を受けにくくなり、配送時間短縮や燃費の向上など、輸送コストの低減に繋がっています。
- ・全線整備時にはロジスティックといった更なる配送効率の向上など、新たな挑戦を行うことができると考えています。

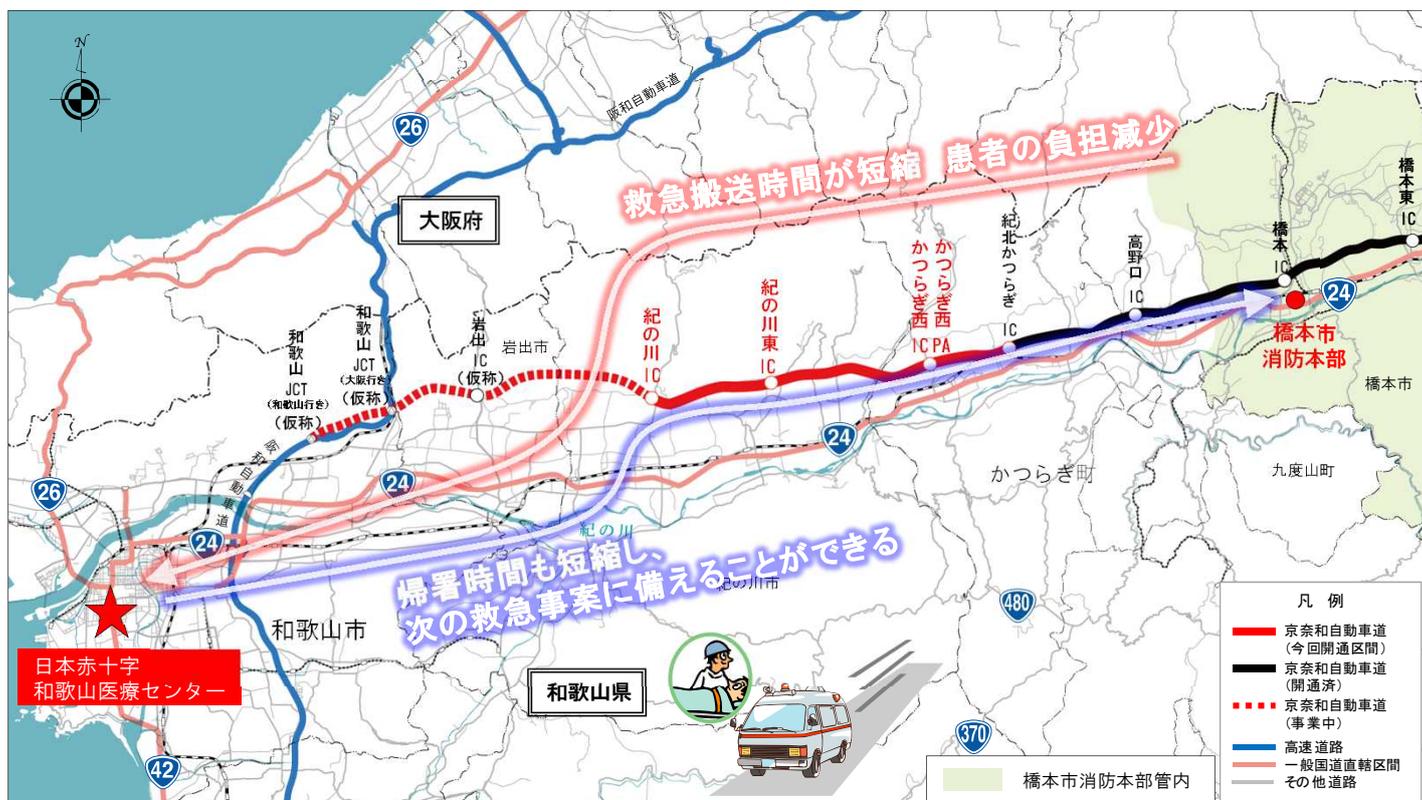
(和歌山市 総合物流企業A社)

企業ヒアリング調査 (H26.11.12実施)

救急医療への貢献

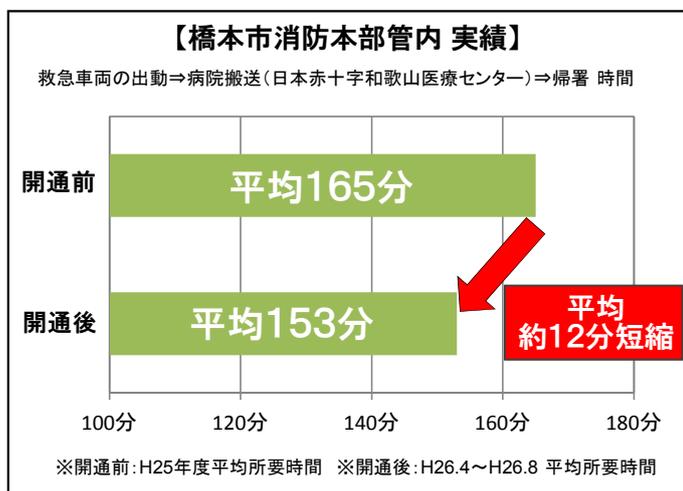
- 京奈和自動車道 紀北東道路の開通により、**救急搬送時間が短縮し、救命活動に貢献**しています。
- 橋本消防本部管内では、第三次救急医療施設※への救急搬送において出動・病院搬送・帰署にかかる平均所要時間が、**約12分短縮**しています。
- その他、消防関係者からは「**高速道路利用による患者の負担軽減**」、「**搬送時間が読める**」などの効果があったという声を頂いております。

※第三次救急医療施設：重症及び複数の診療域にわたるすべての重篤救急患者に対し、高度な救急医療を総合的に24時間体制で提供できる機能を有する病院



■救急搬送における日本赤十字和歌山医療センターとの往来平均所要時間の変化(実績値)

■消防関係者の声



紀北かつらぎICから紀の川ICまで開通したことで、和歌山方面への**救急搬送時間が短縮**されています。

高速道路を利用することで、**患者の負担が大きく軽減**している他、**搬送時間が読める**ようになった為、非常に助かっています。

病院から当署まで帰署する時間も短縮され、**次の救急事案に備える**ことができ、より**住民のニーズに応える**ことができます。

残りの京奈和自動車道の早期整備も期待しています。

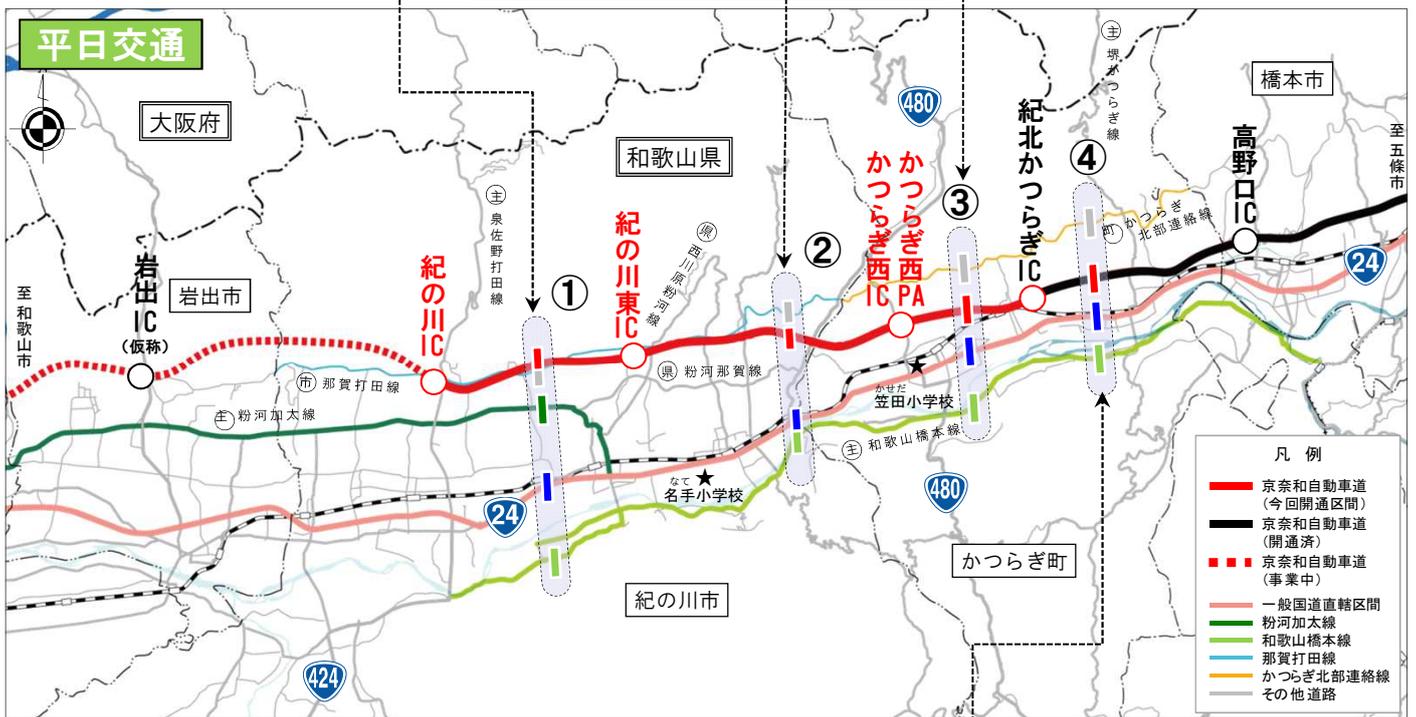
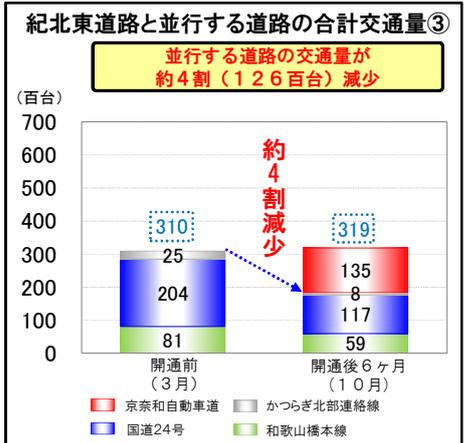
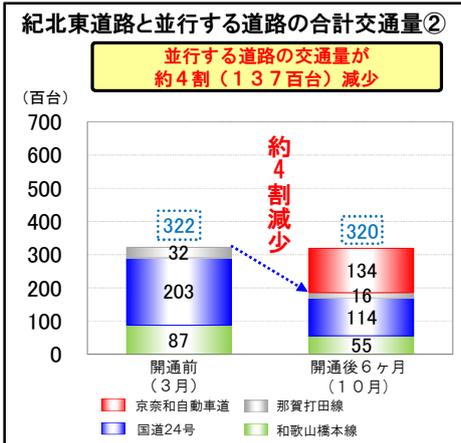
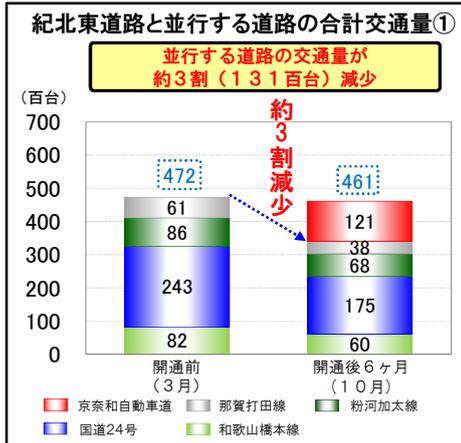
橋本市消防本部

※消防本部ヒアリング調査：H26.8.27実施

交通状況の変化(平日)

～紀北東道路に並行する道路の交通量が約4割減少～

- 平成26年10月における紀北東道路の今回開通区間の平日交通量は121～135百台/24hです。
- 紀北東道路に交通が転換した結果、国道24号をはじめとする紀北東道路と並行する道路の交通量が約4割減少しています。
- 地域の小学校では、抜け道交通についても減少していると実感されており、並行道路の交通量減少に伴う児童の通学や日常生活の安全性向上を実感されています。

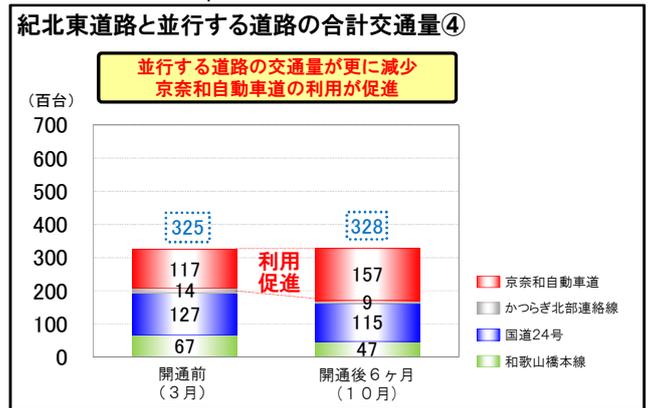


■小学校関係者の声

・以前は並行道路が混雑していたため、生活道路を抜け道として利用する車両が見かけられました。今では**抜け道を利用する車両が減り、通行が安全**になりました。
かつらぎ町立 笠田小学校

・国道24号の大型車が減り、**児童や保護者の方の日常生活面での移動が安全になった**と感じています。
紀の川市立 名手小学校

小学校ヒアリング調査(H26.7.9、H26.7.11実施)



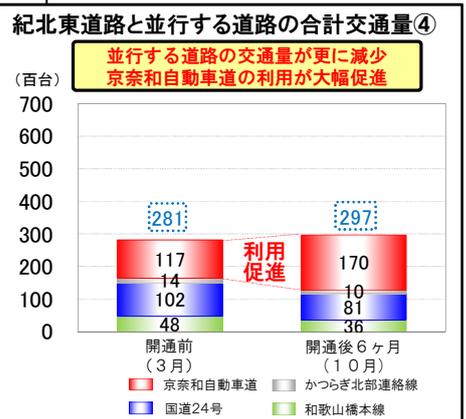
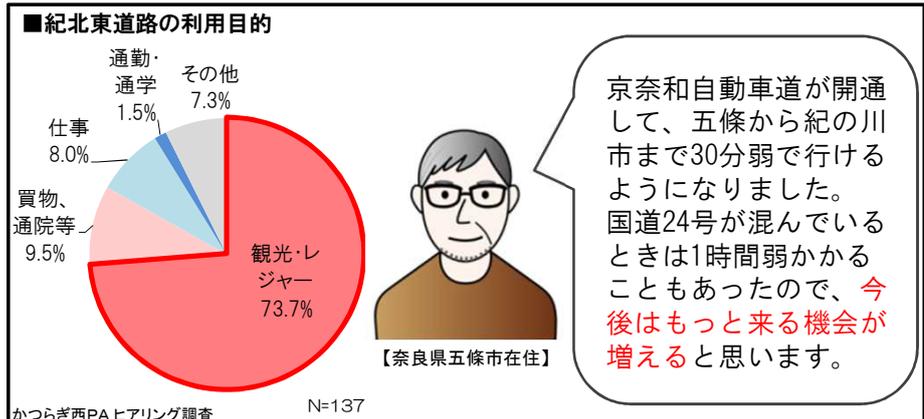
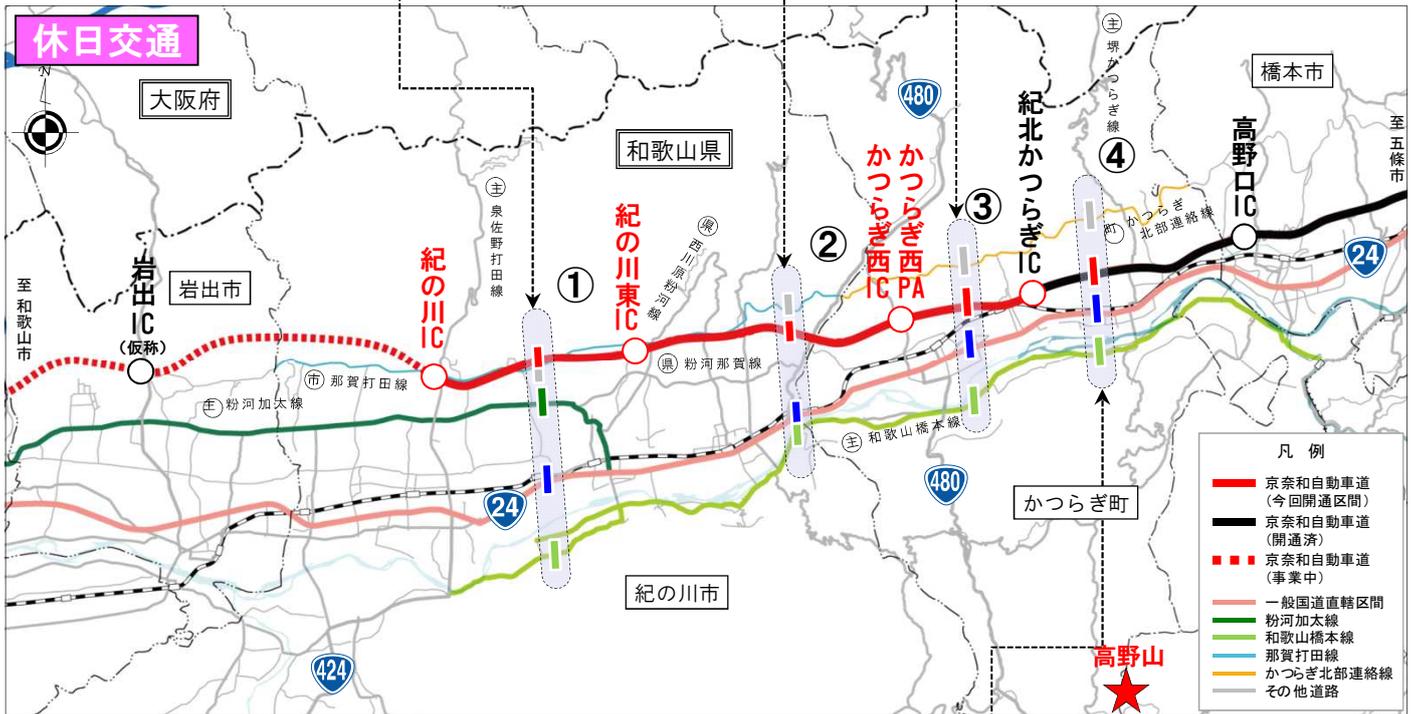
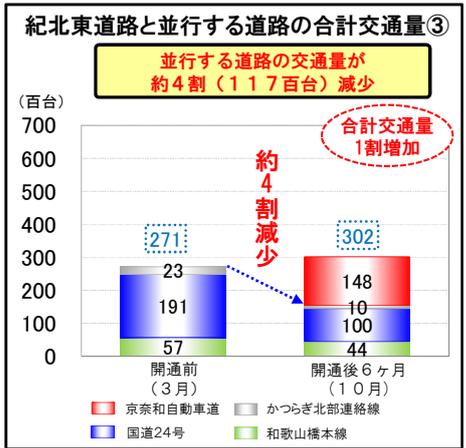
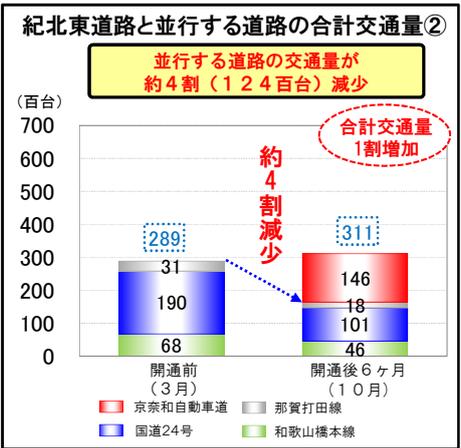
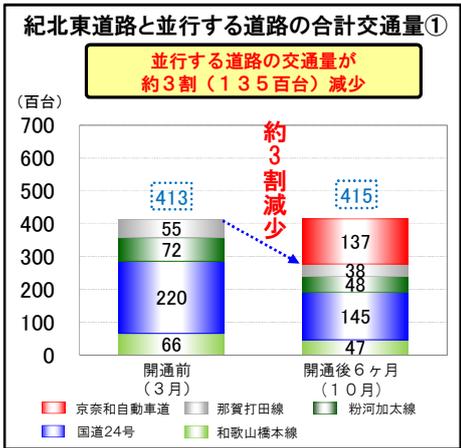
交通状況の変化(休日)

～交通量が約1割増加し、地域交流が活性化～

○平成26年10月における紀北東道路の今回開通区間の**休日交通量**は**137～148百台/24h**です。

○休日においても、国道24号をはじめとする紀北東道路と**並行する道路の交通量**は**約4割減少**しています。

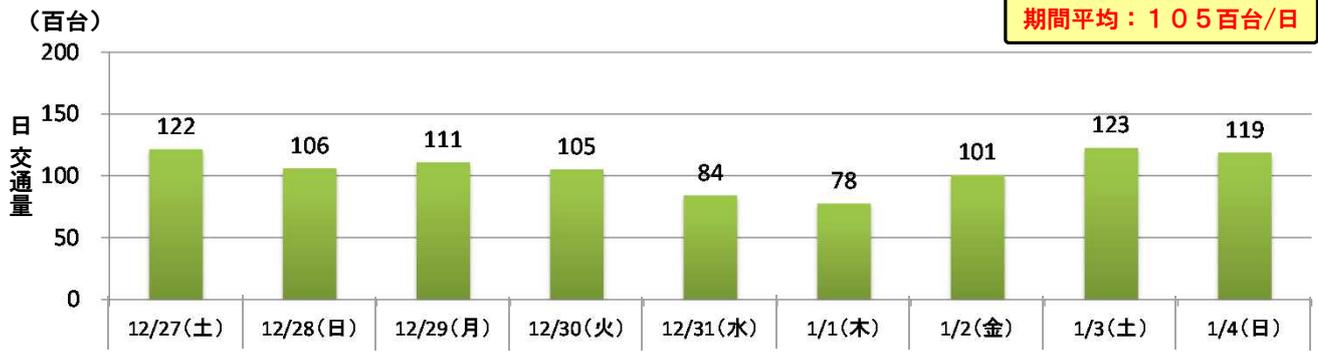
○合計交通量は開通前に比べて**約1割増加**し、**地域交流が活性化**していることが伺えます。



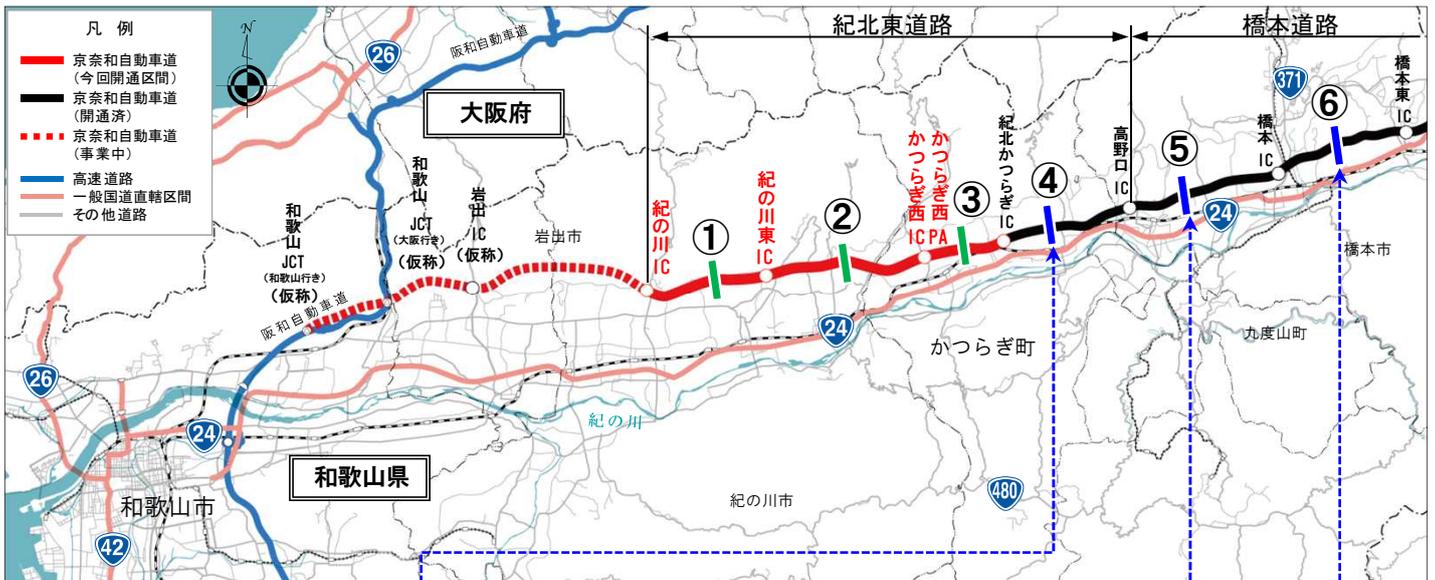
交通状況変化(年末年始)

- 今回開通した紀北東道路の年末年始の交通量は、1日あたり約105百台でした。
- 既に開通していた京奈和自動車道の区間においては、昨年度の年末年始に比べ最大で約4割の交通量増加が見られ、京奈和自動車道の利用が大幅に促進しています。

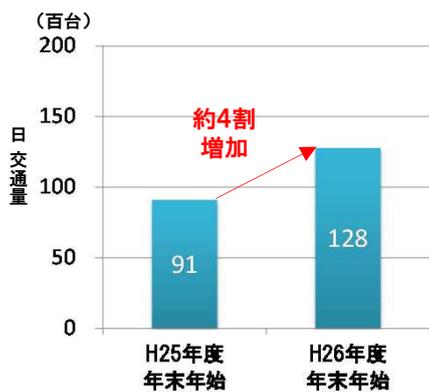
■紀北東道路 開通区間(紀北かつらぎIC～紀の川IC)の年末年始交通量(①・②・③区間平均)



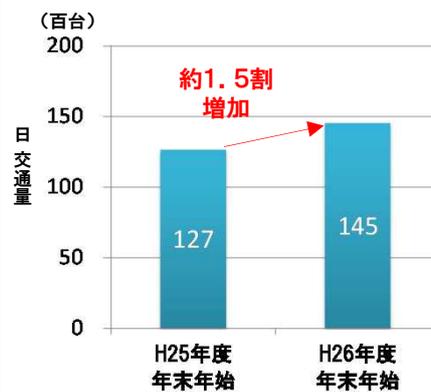
交通量...H26.12.27(土)~H27.1.4(日)(9日間)



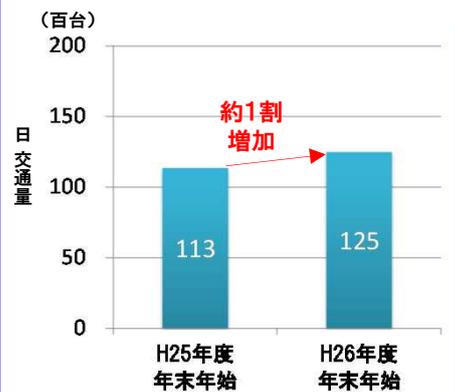
④高野口IC～紀北かつらぎICの交通量



⑤橋本IC～高野口ICの交通量



⑥橋本東IC～橋本ICの交通量



交通量...[H25年度 年末年始]:H25.12.28(土)~H26.1.5(日)(9日間)の平均値
[H26年度 年末年始]:H26.12.27(土)~H27.1.4(日)(9日間)の平均値

